

小千谷市洪水避難地図 洪水ハザードマップ

[茶郷川・湯殿川・表沢川]

保存版
H26年3月作成

想定する降雨規模

茶郷川流域 24時間雨量190.1mm (概ね50年に1回)
表沢川流域 1時間雨量58.9mm (概ね30年に1回)
湯殿川流域 1時間雨量71.9mm (概ね30年に1回)

参考
平成23年7月27日～30日発生 新潟・福島豪雨時
小千谷観測所(元町) 24時間最大雨量 168ミリ
1時間最大雨量 30ミリ

凡例

00 避難所 (洪水時には使用できません)
00 避難場所 (洪水時には使用できません)
市役所(災害対策本部) 関越自動車道
消防署 国道
警察署・交番(駐在所) 県道・主要地方道
病院 院 J R
はんらん対象河川 水位観測所

土砂災害危険箇所
土砂災害危険箇所は新潟県が作成した「土砂災害危険区域図」をもとに表記されています。

洪水避難地図とは

○この地図は、新潟県が作成した浸水想定区域図をもとに、茶郷川・湯殿川・表沢川が洪水はん濫により浸水した場合の予想と市内の避難施設などを表示しています。

○この地図は、想定を超える雨量・支川や隣接する他の河川のはん濫・内水によるはん濫・信濃川の水位の影響・信濃川左岸用水路(高梨方面)への放流などは考慮されていません。

○この地図を使ってご家庭や地域で、日ごろから水害に備えましょう。

浸水深の目安

大雨で河川がはんらんした時に予想される浸水深を色別で表しています。浸水深の目安はおよそ次の通りです。

色	浸水深	浸水の目安
赤	2.0~5.0m	2階の軒下までつかる程度
黄	1.0~2.0m	1階の軒下までつかる程度(床上浸水)
緑	0.5~1.0m	おとなの膝までつかる程度(床上浸水)
青	0~0.5m	おとなの膝までつかる程度(床下浸水)

※浸水深が0.5mを超えると避難が非常に困難になりますので、早めの避難を心がけましょう。なお、予想される浸水深が0.5m未満の箇所は、無理に避難所などへ避難するよりも自宅などの2階以上へ避難したほうが安全な場合もあります。

避難所

地区	No	施設名称	電話番号
西小千谷	1	小千谷小学校	83-2042
	2	南保育園	82-2690
	3	市民会館	82-9111
城川	4	小千谷中学校	82-2297
	5	小千谷西高等学校	82-4335
	6	総合福祉センターサンラックおぢや	83-2340
	7	総合体育館	83-0077
	8	農業管理センター	82-2935
	9	北保育園	82-1742
千田	10	千谷センター	82-4526
	11	千田小学校	82-2508
	12	千田中学校	82-2784
	13	すみれ保育園	82-1136
東小千谷	14	勤労青少年ホーム	82-8510
	15	東小千谷体育センター	82-8510
	16	東小千谷小学校	83-2361
	17	小千谷高等学校	83-2262
	18	東小千谷中学校	82-2472

避難場所

地区	No	名称
西小千谷	1	市民学習センター「楽集館」駐車場
	2	船岡公園駐車場
	3	五智院境内
城川	4	二荒神社境内
	5	錦鯉の里駐車場
	6	城上神社境内
東小千谷	7	イオン小千谷店駐車場
	8	コメリ小千谷店駐車場
	9	コメリ小千谷店駐車場
	10	ひばり幼稚園グラウンド

避難情報などの伝達経路

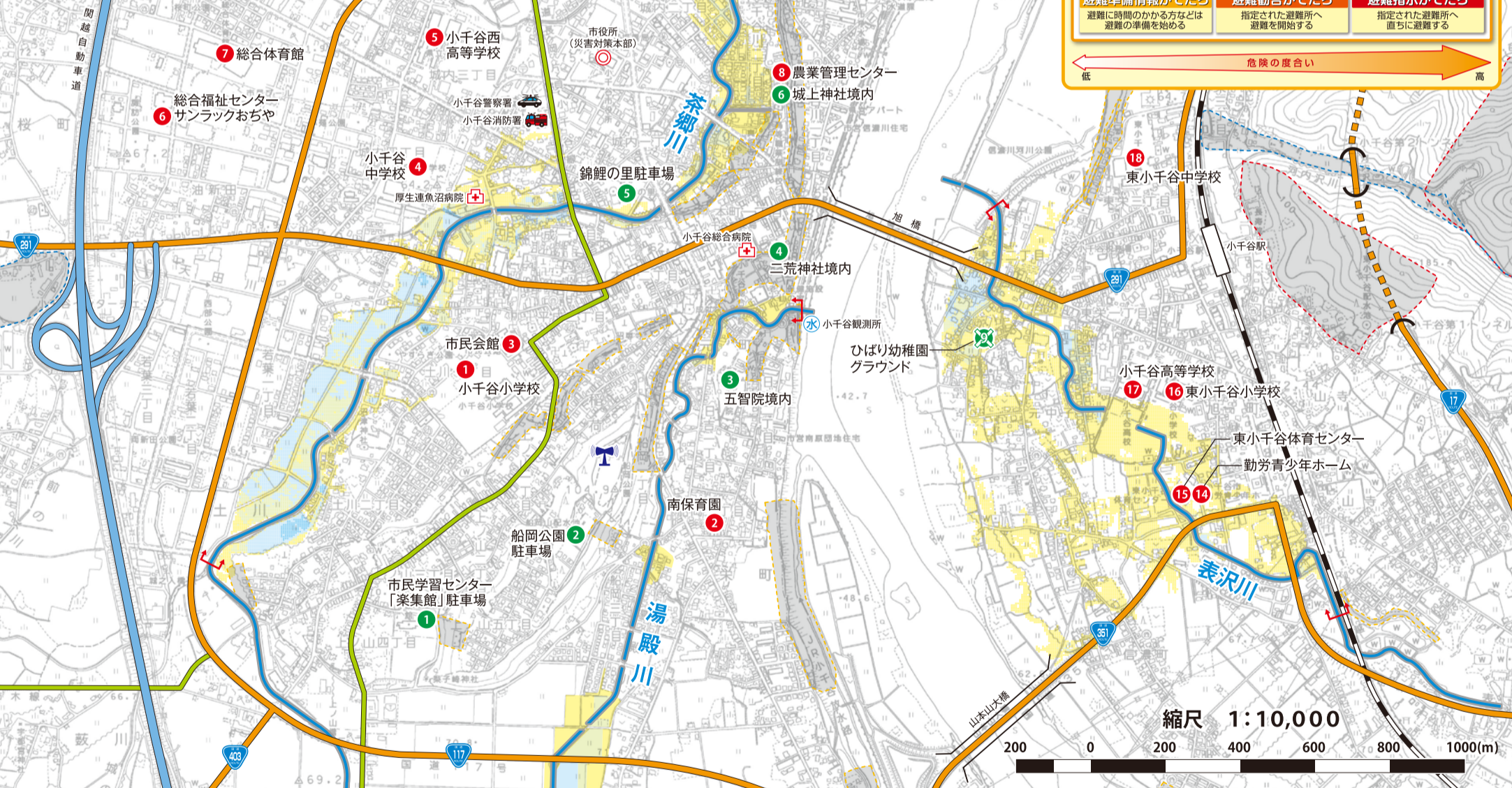
小千谷市
●避難準備情報 ●避難勧告 ●避難指示・解除
TEL:83-3511 FAX:83-2789 <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

緊急告知 ラジオ 市緊急情報メール 緊急連絡エリアメール 防災行政無線放送 広報車 インターネット(市ホームページ) 自主防災会町内連絡網

市民のみなさんが取るべき行動

避難準備情報かてたら	避難勧告かてたら	避難指示かてたら
避難にかかる方などは避難の準備を始める	指定された避難所へ避難を開始する	指定された避難所へ直ちに避難する

危険の度合い 低 → 高



緊急情報メール配信

災害時の避難情報や市民のみなさんを災害から守るための緊急情報を電子メールで配信します。主に気象情報・警報・地震速報のほか、避難や災害発生に関する情報を配信します。携帯電話やパソコンから下記の登録用アドレスもしくはQRコードを読み込み空メールを送信して登録して下さい。

●登録用アドレス・QRコード / E-mail bousai.ojiya-city@raiden.ktaiwork.jp

(注) 迷惑メールの設定をしている場合は、下記アドレスからのメールを受信できるように設定してください。

●メールアドレス / ojiya-city@raiden.ktaiwork.jp

避難の心得 ~どうやって避難するの?~

避難路の確認
自宅の近くにどんな避難所があるのか確認してください。家族みんなまで避難所まで歩いて、安全で避難しやすい道を探してみましょう。また、避難にかかる時間を把握しておきましょう。
避難所に避難するときに車を必要とする地区のみなさんは、早めの避難行動を心がけてください。

浸水したら車での避難は控えましょう!
車での避難は道路が浸水する前に早めに開始しましょう。道路が浸水すると車のエンジンがとまりますので、できる限り歩いて避難しましょう。

高齢者や障がい者の方などの避難に協力しましょう!
避難するときは、隣近所に声をかけて複数で避難しましょう。また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に協力しましょう。

自主的な避難準備
雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどの最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺に危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。

靴は運動靴、動きやすい格好で避難しましょう!
浸水した道路は、マンホールのふたが外れていたり、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。

避難の呼びかけに注意を
地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、緊急告知ラジオ・メール・広報車等、あらゆる手段で避難の呼びかけを行います。

万が一、逃げ遅れたら
ひざのあたりまで浸水したとき、あるいは移動困難な障がい者などの方が、避難所へ移動することはかえって危険を伴います。動くことを最小限におさえて、自宅の2階などへの在宅避難や、近くのビルなどへの高所避難のほうが安全な場合もあります。